資料－４－２

高速道路の「かたち」（構造）などの紹介

【北杜市（長坂IC付近）】 低い盛土構造（植栽）

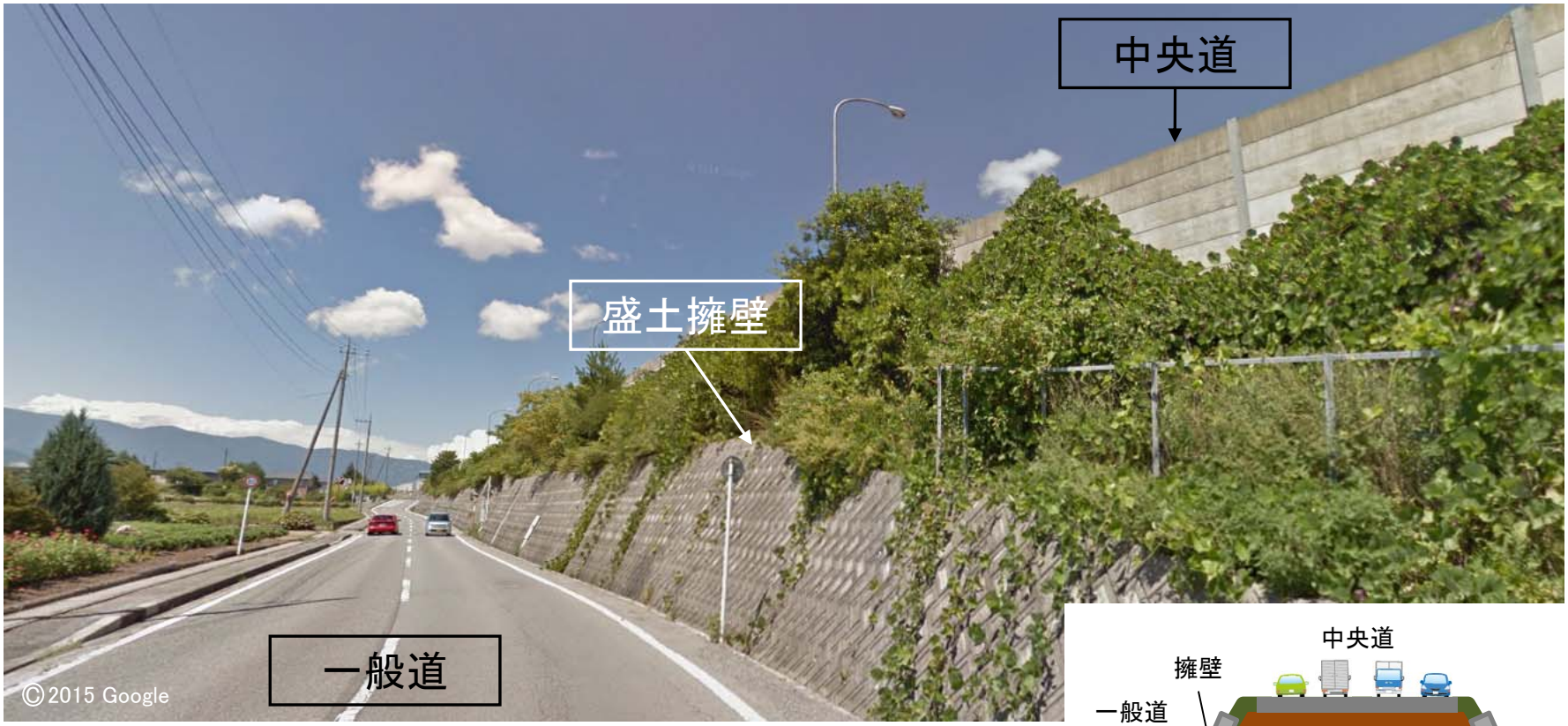
【中央自動車道の例】

・高さ5～7m程度の盛土（土を盛って造る道路）です。
・この写真は高速道路沿いの一般道から中央道を見上げています。
・盛土の斜面に草木を植えて覆っています。

【北杜市（小淵沢町）】 低い盛土構造（擁壁）

【中央自動車道の例】

・高さ5～7m程度の盛土（土を盛って造る道路）です。
・盛土表面にコンクリートの壁（擁壁）を設置して急な傾きの盛土をすることもあります。
・この写真では、ブロック積擁壁と呼ばれるコンクリートブロックが設置されています。



【北杜市（須玉町若神子）】 低い切土構造（植栽）

【中央自動車道の例】

・高さ5～10m程度の切土（山を削って造る道路）です。
・この写真では中央道から切土の斜面を見上げています。
・斜面は草木を植えて覆っています。
・中央道の上を道路（跨道橋）が通過しています。

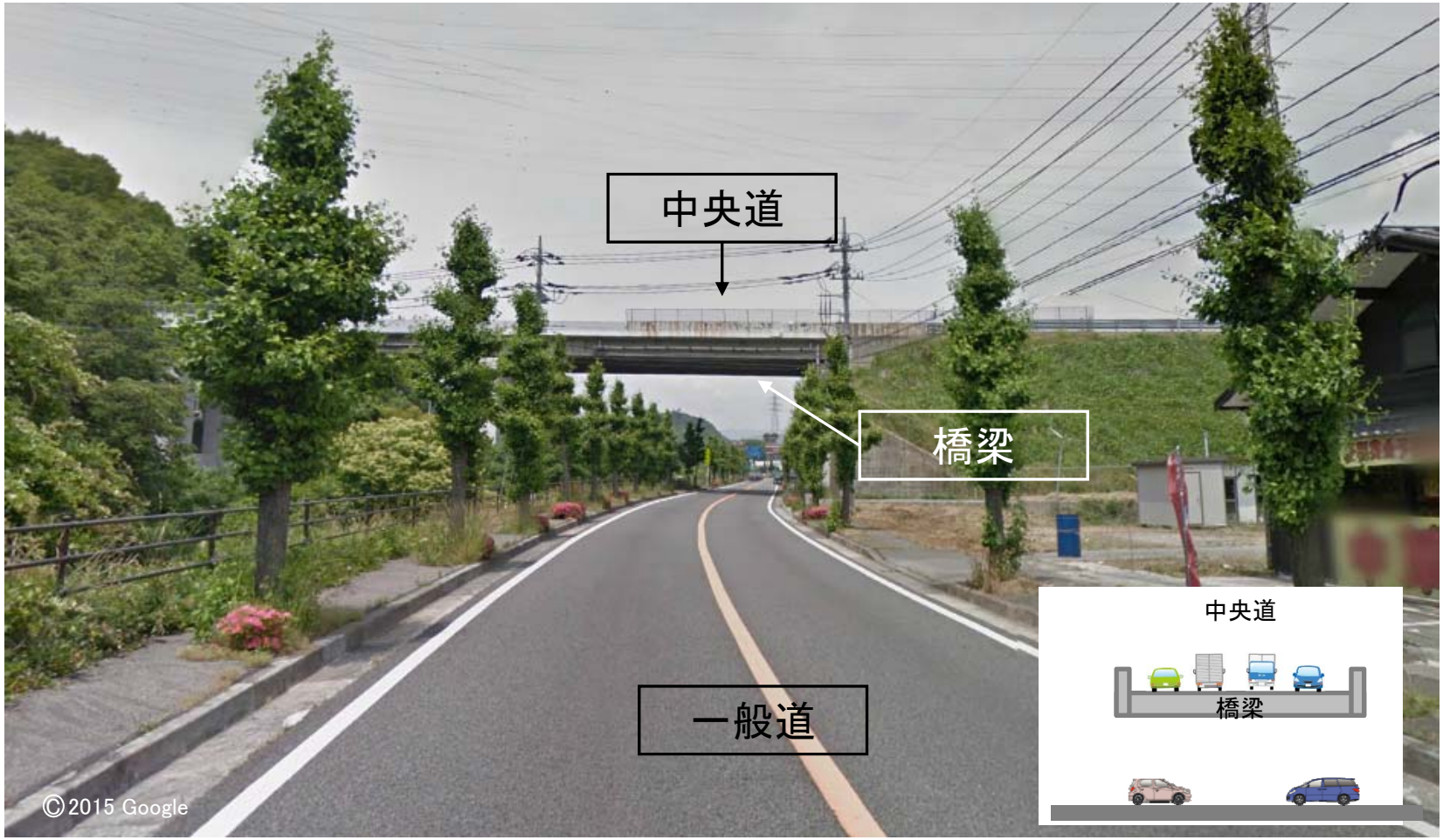
【北杜市（長坂町大八田）】 低い切土構造（コンクリート吹付・擁壁） 【中央自動車道の例】

・高さ5～7m程度の切土（山を削って造る道路）です。
・この写真は中央道から切土の斜面を見上げています。
・左側は表面にコンクリートを吹き付けて斜面を保護しています。
・右側はコンクリートブロックを設置しています。
・ここでは上のほうだけ草木を植えていますが、全てをコンクリートで覆う場合もあります。

【北杜市(国道141号須玉町若神子)】 交差方法(橋)

【中央自動車道の例】

・中央道の下を一般道が交差しています。
・この写真の箇所では、中央道が橋になっています。



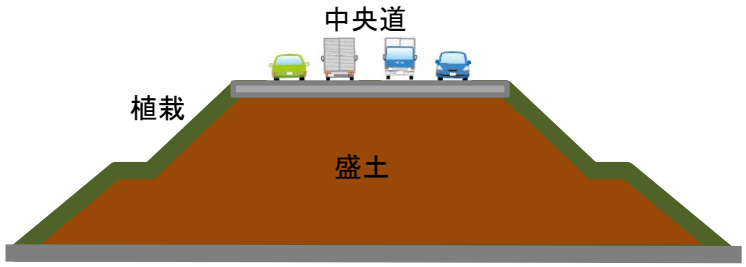
【北杜市（長坂町大八田）】 交差方法（コンクリートのトンネル） 【中央自動車道の例】

・中央道の下を一般道が交差しています。
・この写真の箇所では、一般道がコンクリートのトンネル（ボックスカルバートと呼ばれています）となっています。

【大月市（笹子峠付近）】 大規模な盛土構造（植栽）

【中央自動車道の例】

・笹子峠付近（大月市）では、北杜市区間よりも急な山を中央道が通過しています。
・10m～20mといった高さの盛土（土を盛って造る道路）になっているところがあります。
・この写真は一般道から中央道を見上げています。
・盛土（土を盛った）斜面は草木を植えて覆っています。



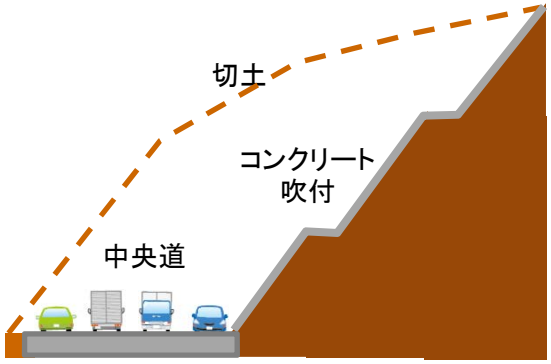
【大月市（笹子峠付近）】 大規模な切土構造（植栽）

【中央自動車道の例】

・笹子峠付近（大月市）では、北杜市区間よりも急な山を中央道が通過しています。
・10m～20mといった高さで山を削った切土（山を削って造る道路）になっているところがあります。
・この写真は中央道から切土の斜面を見上げています。
・切土の斜面には草木を植えて覆っています。

【大月市（笹子峠付近）】 大規模な切土構造（コンクリートの斜面） 【中央自動車道の例】

・10m～20mといった高さで山を削った切土の斜面となっています。
・この写真は中央道から切土の斜面を見上げています。
・切土の斜面は急な傾きで、表面がコンクリートで覆われています。

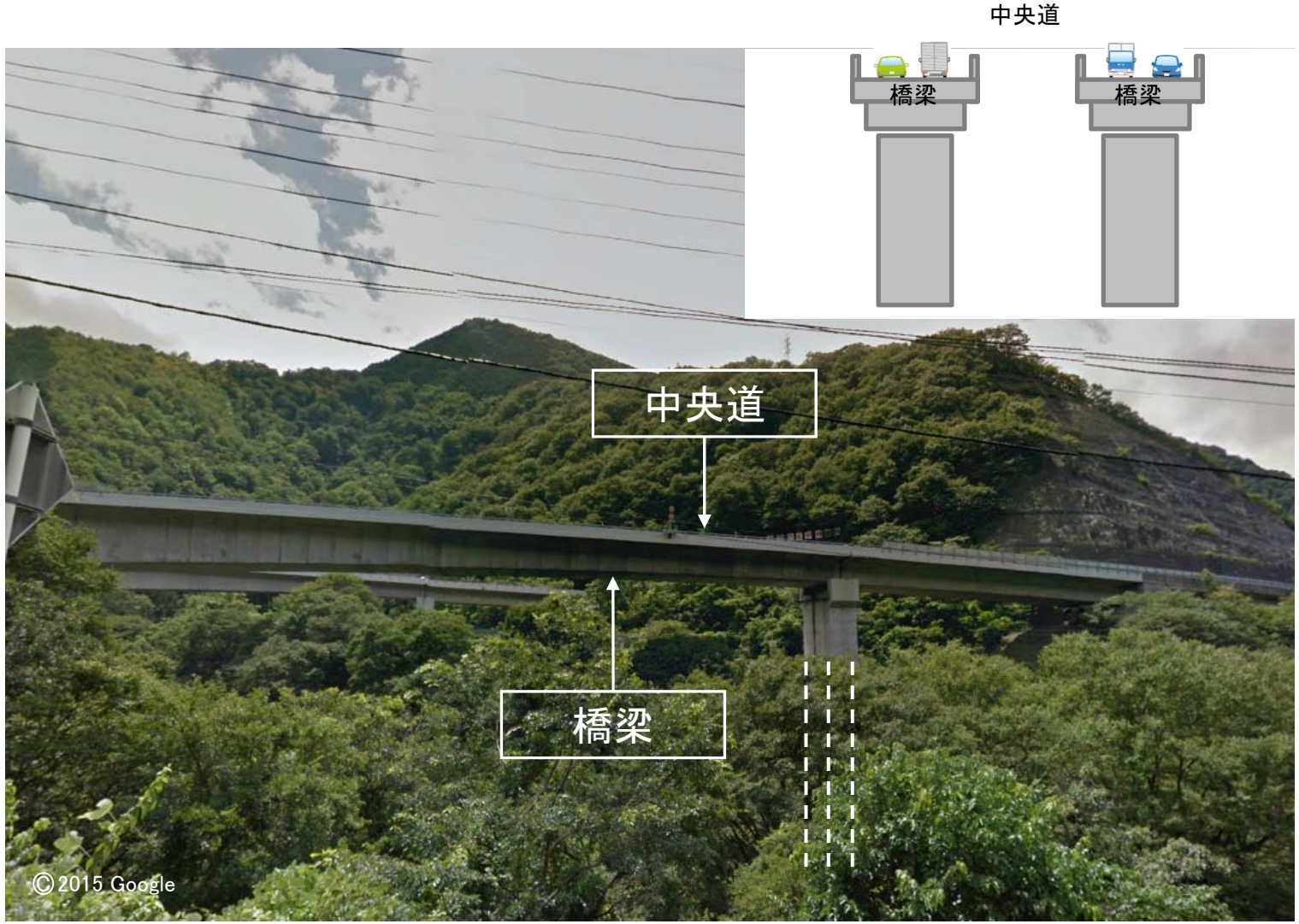


【大月市（笹子峠付近）】 山を通過する長くて大きなトンネル　【中央自動車道の例】

・笹子峠のように、切土（山を削る量）が非常に多くなる場所では、トンネルとなります。
・この写真は中央道でトンネルに向かっているところです。

【甲州市（笹子峠付近）】 谷を通過する長くて大きな橋梁　【中央自動車道の例】

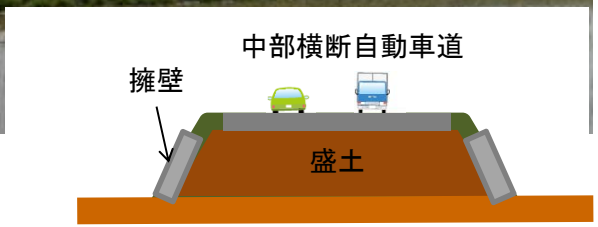
・山や谷をつなぐような場所では、地面より高い所に橋を造ることもあります。
・この写真は中央道の橋（コンクリートでできた橋）を見上げています。



中部横断自動車道（長野側ー　佐久中佐都インター付近）

【中部横断自動車道（長野県内）の例】

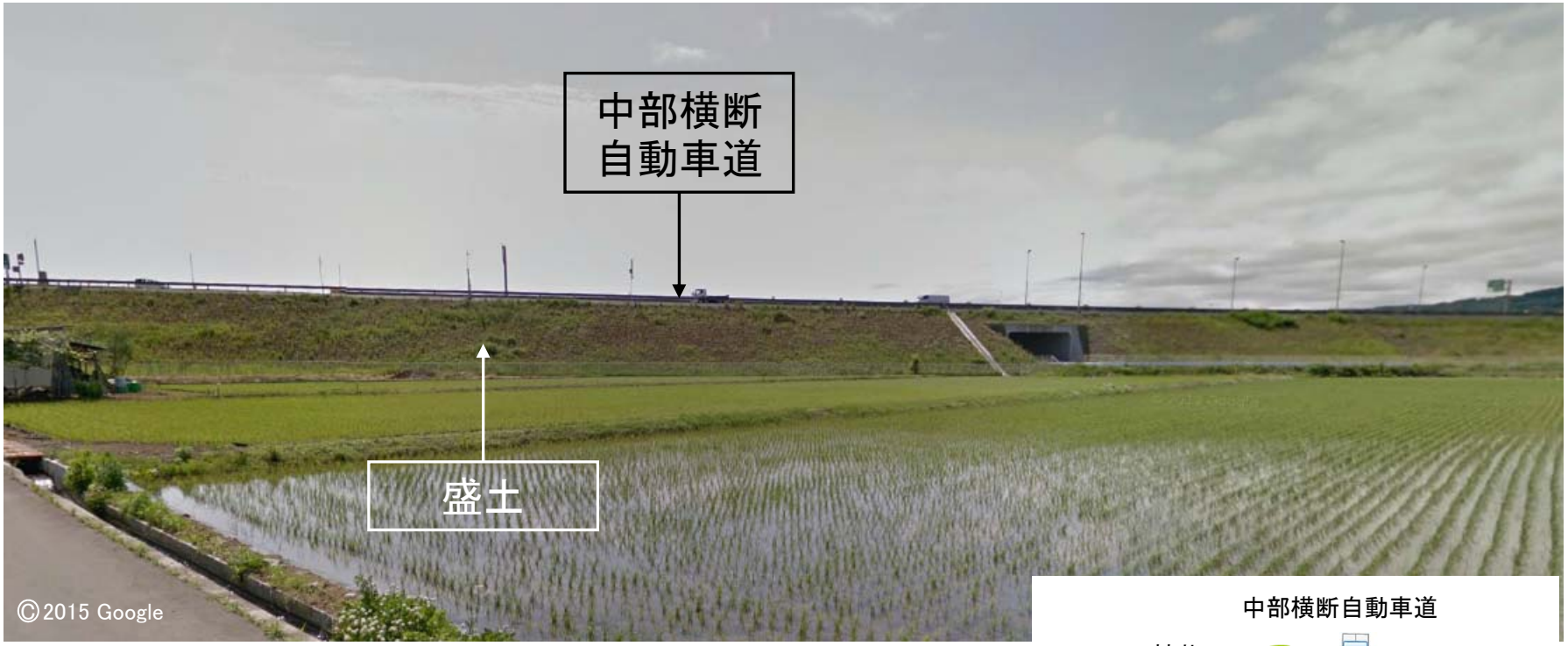
・中部横断自動車道の長野側では既に開通している区間があります。
・この写真の区間は、低い盛土（山を盛って造る道路）です。
・盛土の上の方は草木を植え、下の方はコンクリートの壁（擁壁）を設置しています。



中部横断自動車道（長野側　―　佐久南インター付近）

【中部横断自動車道（長野県内）の例】

・この区間の道路の斜面は、コンクリートを使わないで、全て草木が植えられています。
（この写真では、あまり草木が生い茂っていませんが、年月が経つと北杜市内の中央道のように斜面を草木が覆います。）



中部横断自動車道（長野側　－　佐久中佐都インター付近）

【中部横断自動車道（長野県内）の例】

・中部横断自動車道から見える浅間山です。

中部横断自動車道（甲府側　ー　双葉JCT以南・南アルプス市区間）

【中部横断自動車道（山梨県内）の例】

・南アルプス市を通っている中部横断自動車道です。
・この場所では、平地を連続した橋で通過しています。
・平地部の連続した橋は、「道路を造るために必要な土地の面積を小さく」したり、「交差する道路の行き来をしやすくする」など、一般的には“都市で造られることが多い”です。

東富士五湖道路

【東富士五湖道路の例】

・富士山麓に通っている東富士五湖道路です。

出典：高速道路八十八景　財団法人　高速道路調査会

東富士五湖道路

【東富士五湖道路の例】

・この写真は並走している一般道から東富士五湖道路を見上げています。
・この区間では、盛土（土を盛って造る道路）の斜面に樹木を植えて、自然保護を行っています。

道路のかたちの工夫の例①（地元で生えている草木を植える）　圏央道

事　例

○道路の斜面（のり面）の緑化（草木を植えること）
（道路を造る周辺で育っている樹木の種子を植えて、自然環境を守る例があります。）

【苗木の生育例（八王子JCT付近）】

植樹後11年目の道路の斜面

植樹前の道路の斜面

出典：国土交通省　関東地方整備局　http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000045580.pdf

道路のかたちの工夫の例②（景観に気を配った橋） 国道115号

事　例

○山の自然な景色と橋（人工物）のデザインで工夫し、バランスをとっている例

写真－国道115号土湯バイパス　横向大橋（福島県耶麻郡猪苗代町）

山の中を細長い柱で支えた単純な形の橋が通過している。

出典：景観デザイン規範事例集（道路・橋梁・街路・公園編）p29　国土交通省　国土技術政策総合研究所

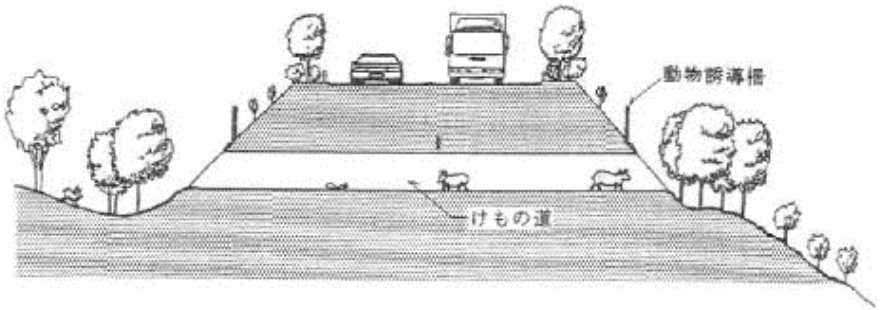
道路のかたちの工夫の例③ （動物が移動する道を確保）

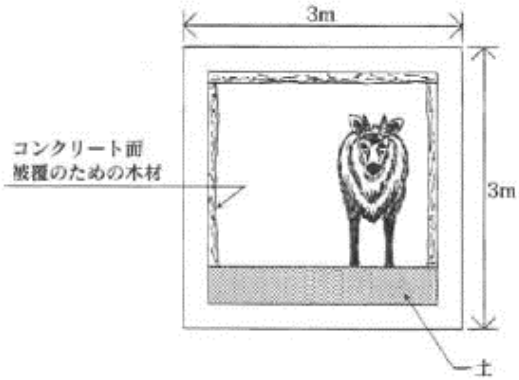
事　例

○動物横断施設（動物が使うトンネル・橋）の設置

一般国道108号（鬼首エコロード）

（宮城県鳴子町鬼首～秋田県雄勝町）





野生動物が道路を渡れるよう、
道路の下にトンネルを設置

出典：道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」の環境保全措置に関する事例集　平成25年3月　国土技術政策総合研究所資料pⅠ-42

北杜市にある野生生物のための橋

旧清里有料道路（北杜八ヶ岳公園線）や市道では、清里の野生動物（ヤマネなど）が道路を渡れるよう、道路の上に橋（アニマルパスウェイ）が設置されています。

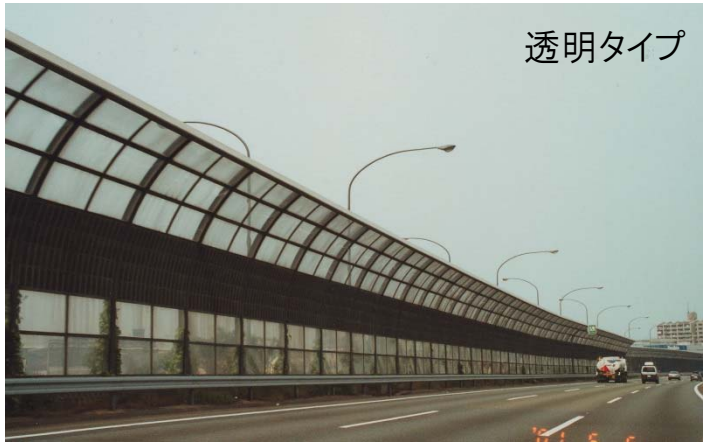
出典：道路のデザインp159、160　財団法人　道路環境研究所

道路のかたちの工夫の例④ （騒音や光漏れを少なくする）

事　例

○遮音壁（音を遮る壁）（目隠しタイプ／透明タイプ）

金属製の遮音壁（北杜市内の中央道でも設置されています。）



透明タイプの遮音壁（京葉道路／千葉県千葉市）

出典：道路のデザインp119　財団法人　道路環境研究所

○照明（周りに漏れる光が少ない照明）

【橋の壁に埋め込んだ照明】
上方向・道路の周りへの光を制限

低い位置に設置して横方向に照らすタイプの照明
（新東名（遠州森町PA付近）／静岡県周智郡森町円田）

出典：ネクスコ東日本